

# 令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 荘島小学校プラン

《学校の教育目標》 げんきに学んで正しくすすむ子どもの育成  
 《本年度 学校の重点目標》 「わたしが創る よりよい荘島」

考えをもち友達と共に課題解決に取り組むことで学び、自己認識を深めることができる。  
 【つくる力】

挨拶や温かい言動によって周りと一緒に積極的に関わり、よさを認め合うことができる。  
 【つなぐ力】

目標やめあてをもち、時間やルールを守って自分から進んで行動しやりぬくことができる。  
 【つらぬく力】

## 学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載
- ②深い意味理解と協働的な学びによる実践的な問題解決力を身につける「教えて考えさせる授業」に取り組む。(算数：毎時間)  
 【成果指標】教師の評価指数「学びの変容を自覚させる工夫」3.0pt以上(4段階評価)  
 児童の評価指数「考えを書く、理由を付け加える」85pt以上、「学習がよく分かる」90pt以上
- ③めあてや見通しをしっかり持たせ、自分の考えや根拠を言葉や図、式などで説明したり、ICTを活用して考えをを広げ深める対話的交流の場を設定する。(週1回以上)
- ④ALT活用を中心としてコミュニケーションや活動を重視した授業を行う。(週1回以上)

## 笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ②情報共有・共通理解を図るとともに、終礼や放課後の打合せ時間(週1回)を活用し職員会議(月1)や研修(週1)の時間を短縮する。  
 【成果指標】「学びをつなぐ授業(書く活動・対話活動の位置づけ、教科横断的取組)」、「児童理解」3.0pt以上(4段階評価)

## 協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載

## 楽しい学校

- ①不登校を生まない環境づくりを目指すとともに「くるめアクションプラン」の初期対応を徹底する。(毎日)スクールカウンセラー(月2回)や荘島小連絡会議(月1回)で関係機関等と情報共有し、共通認識のもと、連携を深め、対応していく。生活・いじめアンケートをもとに、児童全員の面談を行う。(学期1回)  
 【成果指標】不登校者数を兆候を含めて10人以下、いじめ事象の件数を10件以下(年間)
- ②「月のめあて」を設定し、児童会の各委員会との連携及び各学級での具体的取り組みを設定させ、全校朝会で振り返りを行う。(月1回)
- ③給食や掃除、学校行事等で縦割り活動を取り入れ、学年を超えた仲間意識の向上を図る。(年間)

## 【体力向上】

- ①朝の運動「スポーツタイム」を実施(月2回)、授業の準備運動でジャンプやダッシュを取り入れるなどの工夫をする。(毎時間)
- ②荘島小学校チャレンジ広場(大なわとび・なわとび)(「1校1取組」運動)  
 ・体力アップシート活用率:目標70%  
 ・スポコン広場登録学級数:目標6学級

## 【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①「挨拶・温かい言葉」週間を設定(毎月)、「朝の挨拶運動(2週間校門立ち)」を実施し「目を見て挨拶、先に挨拶」を呼びかける。(各学年年数回)
- ②縦割り掃除を日常的に取り組むことで、異学年間の交流を図り自己肯定感を高める。(年間)
- ③「家庭学習のしおり」を作成・配布(年初め)し、家庭学習の状況を10日間、自己チェックする。(毎学期)

## 基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】 被差別の現実から深く学び、人権認識を確かなものにするとともに、「学力保障」「集団づくり」の取組を進める。 [要綱P117~参照]
- 【特別支援教育】 通常の学級を含む教育的特別支援が必要な児童について、個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成し、指導内容や方法を工夫し、計画的な指導を行う。 [要綱P161~参照]
- 【キャリア教育】 キャリア・スポーツを活用して希望や目標を持って生きる意欲や態度を育てる。 [要綱P127~参照]